

サンプル版



PDF Version

aiCBOOKS

海外投資実践マニュアル

7

How to Invest Overseas vol.7 U.S.A 2

アメリカ2

バンク・オブ・ハワイ



海外投資を楽しむ会・編著

alternative investment club

サンプル版のご注意

本PDFはサンプル版のため、目次と一部ページのみを抜粋して掲載しています。実際の製品版「海外投資実践マニュアル7 アメリカ2 (バンク・オブ・ハワイ)」は、総ページ数が85ページとなります。

【重要】

- 本書は海外の金融機関の一般的な口座開設方法や取引方法を解説したもので、その一例として具体的な金融機関を紹介しているが、これらの金融機関の利用を推奨するものではない。本書で紹介した金融機関と有限会社オルタ・インベスト・コム（以下、AIC）はなんの関係もなく、AICは各金融機関の信用度を保証しない。口座開設はあくまでの各自の判断で行なっていただきたい。
- 本書で紹介された金融機関を利用したことから仮になんらかの損害が生じたとしても、その判断はあくまでも各自の自由な選択によるものであり、AICはその損害に対していっさいの責任を負わない。
- 本書のデータは2012年5月現在のものであり、それ以降の変更に関しては各自で確認されたい。重要な変更については、海外投資を楽しむ会ホームページに随時アップする。
●海外投資を楽しむ会 <http://www.alt-invest.com/>

Introduction

ハワイは、日本人にとって特権的なアメリカ

アメリカ人の知人と話をしていると、「アメリカの銀行口座を持ってるよ」というとびっくりします。仕事や留学でアメリカに住んでいたならともかく、ふつうの日本人が銀行口座を持てるはずがない、と思っているからです。

アメリカのメインランドなら、これは間違いではありません。とりわけ 2001 年の 9.11 同時多発テロ以降は、旅行者はもちろん正規の留学生ですら、銀行口座を開くのが難しくなっていました。

それ以前は、たとえ不法移民でも、米国内で仕事をしながら家庭を営んでいる以上、銀行口座がないと不便だということで、一定の条件を満たせば口座開設が認められていました。それが現在は、アメリカ市民の事実上の ID である SSN (Social Security Number / 社会保障番号) を持っていないと、口座開設がいっさいできなくなってしまったのです。テロ実行犯が留学生の身分を装い、米国内の銀行口座を使ってテロ資金を受け取っていたからです。

ところがアメリカのなかで唯一、ハワイ州だけは、日本人をはじめとする外国人の非居住者に広く銀行口座の開設を認めています。これが、「ハワイは日本人にとって特権的なアメリカ」という理由です。

なぜこんな不思議なことが起きるのでしょうか。

ひとつは、アメリカは日本とちがって、州 (State) の独立性が強いことです。もちろん全国共通の金融規制はありますが、それ以外では州政府の裁量が大きく認められています。

もうひとつは、ハワイ経済の特殊性です。ハワイには製造業などの主要産業がなく、経済は観光と不動産が支えています。いずれも主役は富裕な外国人で、彼らが別荘やコンドミニウムを購入し、バカンスを楽しむことで、地元経済が潤っています。ハワイでは外国人が銀行から融資を受けて不動産に投資しますから、ローンの返済や管理費の支払いに銀行口座が必要です。物件を賃貸する場合は、銀行口座がないと賃料を受け取れません。外国人に銀行口座の開設を認めないと、経済活動が滞ってしまうのです。

同様に、アメリカのメインランドでは、外国人 (非居住者) が実体のない法人 (ペーパーカンパニー) をつくることは認められていませんが、ハワイであれば、日本にいながらにして法人を設立できます。ハワイの銀行窓口に行く必要がありますが、法人名義の銀行口座を開くことも可能です。これも、法人名義で不動産を保有したり、ビジネスを行なう富裕な外国人に便宜をはかるための特例措置です。

現時点では、ハワイ州の銀行を利用するのが、日本人がアメリカに銀行口座を持つもっともかんたんな方法です。バンク・オブ・ハワイの口座があれば、Firsttrade 証券の口座とリンクさせることで、資産運用の自由度も大きく広がるでしょう。

バカンスでハワイを訪れたら、ついでに銀行口座もつくってくるのはいかがですか？

海外投資を楽しむ会

Contents

海外投資実践マニュアル⑦ アメリカ 2

<バンク・オブ・ハワイ Bank of Hawaii >

Introduction

ハワイは、日本人にとって特権的なアメリカ……………3

ハワイの銀行の基礎知識……………10

■ハワイの銀行の共通点……………13

1. Bank of Hawaii ってどんな会社？……………14

■基本情報……………14

■BOH のホームページ……………15

2. 口座の種類と条件……………17

■口座の種類……………17

①当座預金口座 Checking Account……………18

(1)Free Checking Account：無料当座預金口座

(2)Personal Money Management Checking Account：パーソナル・マネー・マネジメント当座預金口座

②普通預金口座 Savings Account……………19

(1)Regular Savings Account：レギュラー普通預金口座

(2)Bonus Rate Savings Account：ボーナスレート普通預金口座

(3)Personal Money Market Savings Account：パーソナル・マネーマーケット普通預金口座

(4)Bankohana Bonus Rate Savings：バンクオハナボーナスレート普通預金口座

(5)Bankohana Bonus Rate Savings Plus：バンクオハナボーナスレート普通預金プラス口座

③定期預金口座 Time Deposit Accounts (CD)……………21

- ④特別総合口座「Bankohana(バンクオハナ)」……………21
 - (1)Bankohana Level I：バンクオハナ・レベル1
 - (2)Bankohana Level II：バンクオハナ・レベル2
 - (3)Bankohana Level III：バンクオハナ・レベル3

■口座利用のポイント……………24

3. 利用できるサービス……………25

- ①インターネットバンキング e-Bankoh……………25
 - (1)Accounts：口座情報
 - (2)Transfer Funds：口座間振替・振込
 - (3)Make Payments：請求書払い・自動引き落とし
 - (4)Customer Service：各種届出
- ②テレフォンバンキング……………26
- ③カードサービス……………26
 - (1)Visa CheckCard：VISA チェックカード
 - (2)Bankoh BankCard：BOH バンクカード
 - (3)Credit Card：クレジットカード
- ④小切手関連サービス……………27
 - (1)Check Images：キャンセル小切手・コピー返送サービス
 - (2)Check SafeKeeping：小切手保管サービス
- ⑤貸越 Overdraft 関連サービス……………28
 - (1)Debit Card Overdraft Coverage：デビットカード貸越カバーサービス
 - (2)Overdraft Protection from Savings：普通預金からの貸越保護サービス
 - (3)CoverCheck：小切手借越サービス
- ⑥資産管理 Wealth Management サービス……………29
 - (1)投資・ポートフォリオサービス
 - (2)プライベートバンキング Private Banking サービス
 - (3)バンコ・インベストメント・サービス Bankoh Investment Services, Inc.

4. 口座の開き方.....31

■口座開設条件と必要書類.....31

■手続きの場所と営業時間.....31

■口座開設手続きの進め方.....32

①口座開設に必要な情報.....32

②口座開設申込書.....33

(1)Consumer Signature Card：サイン登録用紙

(2)W-8BEN：米国非居住者用免税登録用紙

■口座開設時の入金.....36

トラベラーズチェック購入法.....38

■口座番号の確認.....38

5. 口座開設後の流れ.....40

■ VISA チェックカードの受取り.....40

■小切手帳の受取り.....41

■インターネットバンキングへの登録.....41

6. VISA チェックカードの使い方.....42

■ ATM での使い方.....42

① BOH の ATM (Bankoh BankMachine)42

(1) 出金 (引出) Withdrawal (2) 入金 (預入) Deposit

② VISA グローバルネットワーク ATM.....44

③日本のゆうちょ銀行・シティバンク銀行・セブン銀行の ATM.....45

(1) ゆうちょ銀行の ATM (2) シティバンク銀行の ATM (3) セブン銀行の ATM

- 買い物・デビットカードとしての使い方.....46
- チェックカードの利用限度額と手数料.....46
- チェックカードのトラブルと注意点.....47

7. BOH への入金.....48

- ハワイの支店で入金する.....48
- BOH の ATM (Bankoh BankMachine) で入金する.....48
- 電信送金で送る.....49
- トラベラーズチェック、送金小切手、個人小切手を郵送する.....50
 - ①トラベラーズチェック Travelers Cheque.....50
 - ②送金小切手 Demand Draft.....51
 - ③米国の金融機関が発行する個人小切手 Personal Check.....51
 - ④小切手の安全性.....51

8. BOH からの出金.....53

- ハワイの支店で現金を引き出す.....53
- ATM を使って現金を引き出す.....53
- 電信送金で送る.....53
- 小切手を振り出す.....54

9. ステイトメントの見方.....56

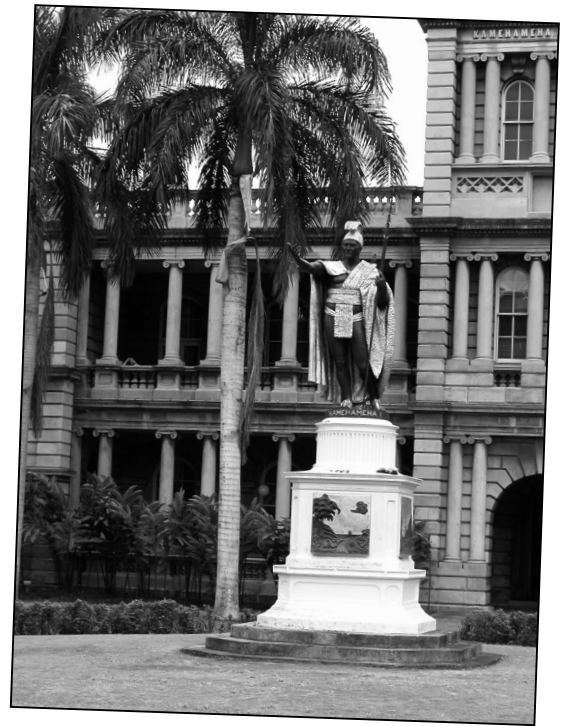
- Statement of Account の内容.....56

10. インターネットバンキングの使い方.....58

- ID・パスワードの登録.....59
- 初回のログイン.....63
 - 安全なサインオンのためのセットアップ.....63
- 設定後のログイン.....67
- 口座について Accounts69
 - ① 口座概要.....69
 - ② 取引履歴.....70
 - ③ ステイトメント.....72
 - ④ 取引履歴のダウンロード.....73
- 口座間振替と振込み Transfer Funds.....73
 - ① 口座間振替の設定.....74
 - (1) 1回のみの振替 (2) 定期的な振替の設定
 - ② 予定されている振替の確認.....76
 - ③ 米国内の他の銀行への振込指示.....76
 - 振込先口座の登録
- カスタマーサービス Customer Service.....78
 - ① 口座管理関連.....79
 - ② 小切手関連.....80
 - ③ BOH からの連絡.....80
 - ④ アラートサービス.....81

11. 追加口座の開設と名義人の追加.....82

12. 口座の閉鎖.....83



上／バンク・オブ・ハワイ、インターナショナル・バンキング・センター（ワイキキ）。
中／カメハメハ大王像。
下／バンク・オブ・ハワイ本店。

ハワイの銀行の基礎知識

米国の証券会社をスピーディかつローコストに使いこなすには、米国内の銀行に口座を持つのがいちばんです。しかし、9・11同時多発テロ以降の厳しい規制の中で、米国内では社会保障番号 SSN (Social Security Number) を持たない人の銀行口座の開設は、実質不可能になっています。

そんな状況の中で、唯一ともいえる例外がハワイ州で、ハワイの銀行だけは日本人旅行者が簡単に口座を開設することが可能です。

ハワイ州の金融当局 DFI (Division of Financial Institutions) が認可している商業銀行は以下の 5 行で、これがハワイの主要銀行となります (米国では銀行の営業を州政府が認可するため、シティバンクやバンク・オブ・アメリカなどの大手銀行はハワイに支店を設けていません)。

▶ DFI の公認金融機関 <http://hawaii.gov/dcca/dfi/regulate/regulate>

●バンク・オブ・ハワイ

Bank of Hawaii

111 South Street, Honolulu, HI 96813

Phone : +1-808-847-8888 / 1+808+694-6935 (日本語専用)

<http://www.boh.com/>

<https://www.boh.com/lang-jp/> (日本語サイト)

1897 年設立。バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション Bank of Hawaii Corporation、かつてのパシフィック・センチュリー・ファイナシャル・コーポレーション Pacific Century Financial Corporation が経営する銀行。ハワイを中心にアジア太平洋地域に 160 以上の支店を展開。

●ファースト・ハワイアン・バンク

First Hawaiian Bank

999 Bishop Street, Honolulu, HI 96813

Phone : +1-808-525-6340 / +1-808-525-8977 (日本営業部)

E-mail : japaninfo@fhb.com

<http://www.fhb.com/>

<https://www.fhb.com/jp/jindex.htm> (日本語サイト)

1859年に設立された、ハワイでもっとも長い歴史を持つ銀行。現在はバンク・ウエスト BankWest Corporation の傘下。

●セントラル・パシフィック・バンク

Central Pacific Bank

220 South King Street, Honolulu, HI 96813

Phone : +1-808-544-0500

<http://cpb-jp.com/> (日本語サイト) ※ サイト内に問い合わせフォームあり。

1954年ハワイ州にて設立。ハワイの商業銀行として個人、法人を問わず国際的なサービスを提供。親会社はセントラル・パシフィック・フィナンシャル・コープ Central Pacific Financial Corp. (NYSE、CPF)。2005年2月シティバンク City Bank (グローバル銀行 Citibank とは無関係) と合併。以前は住友銀行 (現三井住友銀行) と提携関係にあった。

●オハナ・パシフィック・バンク

Ohana Pacific Bank

1357 Kapiolani Boulevard, Suite 102, Honolulu, HI 96814

Phone : +1-808-237-6551

<http://www.ohanapacificbank.com/>

2006年6月に営業を開始したハワイ州でもっとも新しい銀行。おもに韓国マーケットをターゲットにビジネスを展開。

●パシフィック・リム・バンク

Pacific Rim Bank

Two Waterfront Plaza, 500 Ala Moana Bpulevard, Suite 2A, Honolulu, HI 96813

Phone: +1-808-585-9600 / +1-808-457-3949 (日本語専用) / 00531-13-1215 (日本からフリーダイヤル)

<http://www.pacificrimbank.net/jp/> (日本語サイト)

2006年3月に営業をスタートした新設銀行。リテールおよび中小企業向けサービスが主流。

このほか、サンフランシスコに本店をもつ「Bank of the Orient (オリエント銀行)」と、ワシントンが本店の「Homestreet Bank (ホームストリート銀行)」の各支店が、Interstate Branch として、DFI の認可を受けています。ホームストリート銀行は、Continental Savings Bank (コンチネンタル・セイビングズ銀行) の名前でハワイで営業しています。

またハワイ州内には米連邦準備制度理事会 FRB (Board of Governors of the Federal Reserve)」と米連邦預金保証公社 FDIC (Federal Deposit Insurance Company) によって認められた銀行がいくつか設立されています。代表的なものとして、以下の 2 行を挙げておきます。こちらは、日本でいえば信用金庫や信用組合といった規模になります。

●アメリカン・セイビングス・バンク

American Savings Bank, FSB

Main Branch at Bishop Square, 1001 Bishop St., Honolulu, HI 96813

Phone : +1-808-627-6900 (Customer Service) / +1-800-272-2566 (Toll Free)

<http://www.asbhawaii.com/>

1925 年に設立。ハワイアン・エレクトリック Hawaiian Electric Industries, Inc. が親会社。日本語サイトあり。

●ハワイ・ナショナル・バンク

Hawaii National Bank

45 North King Street, Honolulu, HI 96817

Phone : +1-808-528-7755

<http://www.hawaiinational.com/>

1960 年、ホノルルのチャイナタウンに設立。小規模法人および個人を主要顧客とし、小規模法人向けローンの割合はハワイ州内の銀行でもっとも高い。

各銀行の本店は、住所からはわかりにくいかもしれませんが、非常に近接した場所にあります。オアフ島の丸の内ともいえるホノルルのダウンタウン周辺に、ほとんどの金融機関の本店が並んでいるからです。米国内では、FDIC (米連邦預金保証公社) に加入している金融機関に預けられている預金とその利子については、たとえその銀行が破綻したとしても、預金者 1 人につき 25 万ドルまでは政府によって補償されています (小切手は補償対象、証券やミューチュアルファンドなどは対象外)。ここで紹介した銀行は州認可のものも含めて、いずれも FDIC に加入しています (各銀行のホームページを見ると、トップページに必ず「Member FDIC」と記載されているのですぐにわかります)。

■ハワイの銀行の共通点

ハワイの銀行の最大の特徴は、永住者、旅行者を問わず、日本人の口座開設に何の規制もないことです。9・11同時テロ以降も、社会保障番号 SSN (Social Security Number) がなくても、パスポートひとつでその場ですぐに口座が開設できます。また日本語のサイトや専用の電話番号を用意していたり、主要な支店には、必ず日本語がわかる銀行員がいることも大きな特徴です。

個人向けの基本口座は、当座預金、普通預金、定期預金の3口座で、それらを組み合わせた総合口座を用意しているところもあります。

とはいえ、ハワイの銀行はいずれも、ハワイ州の個人・法人向けのリテールバンクで、公共料金や家賃、子どもの授業料の支払いなどに使われる銀行です。海外居住者向けの窓口を設けているところもありますが、オフショアバンクのように海外投資家を専門とする銀行ではないので、資産運用の拠点とするには限界があります。あくまでも Firstrade 証券、E*Trade 証券などネット証券とセットで利用するものと考えたほうがいいでしょう (ハワイの銀行でも米国株式、米国債、ミューチュアルファンド、生命保険などの取引が可能です。「手数料が高くても日本語で取引したい」という方には向いています)。

ハワイには別荘やコンドミニアムを所有し、定期的に日本とハワイを往復する日本人がたくさんいます。彼らはグリーンカードや長期滞在可能なビザを持っていませんが、不動産購入のための資金をプールしたり、老後をハワイで過ごすための資産を預けたり、別荘の管理費や賃料の入出金のためにハワイに銀行口座を必要としていました。ハワイの銀行は、こうした富裕な日本人層を上客として受け入れていったのです。

現在では、日本語を話すスタッフはハワイの銀行にとってなくてはならない存在になりました。リタイア後をハワイで過ごす日本人顧客のために、資産運用や相続のコンサルティングをすることも重要なビジネスになってきています。

1. Bank of Hawaii ってどんな会社？

Bank of Hawaii（以下BOH）の親会社はバンク・オブ・ハワイ・コーポレーション Bank of Hawaii Corporation、かつてのパシフィックセンチュリー・ファイナシャル・コーポレーション Pacific Century Financial Corporation で、ニューヨーク証券市場には「BOH」のティッカーで上場されています。

創業は1897年。100年以上にわたって、ハワイ最大の金融機関として、ハワイ州を中心に、サモア諸島や、サイパン、グアム、パラオなど西太平洋地域で、法人・個人・行政向けサービスを展開してきました。人種や宗教などで顧客を区別しないという社是を持つ銀行でもあります。

現在、オアフ島内に41店舗、マウイ島11店舗、ハワイ島12店舗、カウアイ島4店舗、モロカイ島1店舗、ラナイ島1店舗があるほか、サモア島2店舗、サイパン島2店舗、グアム島7店舗、パラオ島1店舗があります。

また2008年2月より、非居住者向けに専用のサービスを行なう「International Banking Center」がオアフ島内の2カ所に開設されました。ホノルルのダウンタウンにある本店は石づくりの落ち着いた雰囲気のある建物ですが、ワイキキの中心、カラカウア通りにあるワイキキ支店 Waikiki Branch は旅行者にも気軽に利用できる雰囲気です。ここの3階に「International Banking Center」があります。

■基本情報

バンク・オブ・ハワイの基本情報は以下のとおりです。

●所在地

・本店

Bank of Hawaii, Main Office

111 South Street

Honolulu, HI96813

Phone : +1-808-847-8888

・ **International Banking Center** (ワイキキ支店内)

Bank of Hawaii

International Banking Division

2155 Kalakaua Ave, Suite 318

Honolulu, HI 96815

Phone : +1-888-694-8196

(月～金曜日、AM8:00～PM4:00、現地時間)

※日本とハワイの時差は19時間。ハワイ時間＝日本時間－19時間。



▶ **International Banking Center の案内 (MAP など)**

<https://www.boh.com/lang-jp/location.asp>

● **電話番号**

テレフォンバンキング専用電話 : +1-888-643-3888 (24 時間対応、英語のみ)

日本語対応 : +1-888-694-6935 (月～金曜日、AM8:00～PM4:00、現地時間)

※日本から電話や FAX する場合は、最初に「国際電話事業者識別番号 (0033 や 001 など)」 + 「010」が必要になる (マイラインおよびマイラインプラスに登録している場合は 010 のみ)。

● **E メール**

HP 上の問い合わせフォームを利用。

▶ **問い合わせフォーム** https://www.boh.com/apps/contactus/Form.aspx?HID=CSERV_contact-us

■ **BOH のホームページ**

BOH の詳細はホームページに紹介されています。画面は次のページを参照してください。

▶ **BOH のホームページ** <http://www.boh.com/>

【BOH1-01】 BOH トップページ



BOH のホームページにアクセスすると開く画面。ここからアクセスできる情報は以下の通り。

<左囲み>

① SIGN ON TO E-BANKOH : インターネットバンキングにログインする際に「e-Bankoh User ID」欄に ID を入力し、[GO] をクリックする⇒ P211 【BH10-16】 へ。初回のログインで ID およびパスワードを登録するには [Enroll in e-Bankoh] をクリックする⇒ P203 【BH10-01】 へ。

<上部>

- ② Personal : 個人口座について。
- ③ Small Business : スモールビジネス用口座について。
- ④ Corporate & Commercial : 法人口座について。
- ⑤ Wealth Management : 投資サービスの紹介ページへ。
- ⑥ International Banking : インターナショナル・バンキングのページへ。
- ⑦ About us : BOH について。
- ⑧ Customer Service : カスタマー・サービス。サービスに関する情報。
- ⑨ ATMs : 支店や ATM の所在地、営業時間など。
- ⑩ Contact Us : BOH への連絡方法など。
- ⑪ サイト内検索。

2. 口座の種類と条件

BOH の口座は米ドル口座のみ。入出金できる通貨も米ドルだけです。

口座は当座預金 Checking、普通預金 Savings、定期預金 Time Deposit が基本で、複数の口座を 1 枚のステートメントで管理できる総合口座「バンクオハナ Bankohana」、さらに投資サービスやプライベートバンク部門があります。ただしいずれの口座も運用通貨はドル建てのみです。

米国の銀行と日本の銀行との大きな違いは、基本となる口座が異なること。日本では普通預金口座に給料が振り込まれ、そこから公共料金などが引き落とされるようになっていますが、米国では、生活するうえで必要な各種支払いに個人小切手 Check を利用するため、当座預金口座が基本口座になります。普通預金口座はあくまでも利息を得るためのもので、そこからはあまり出金しないのが通例です（一定回数以上の出金は手数料がかかります）。

■口座の種類

BOH の口座の中で、非居住者が利用しやすい口座には以下のものがあります。

各口座で採用されている利息や手数料は、以下のサイトから確認できます。

▶手数料一覧 Fee Schedule https://www.boh.com/files/DDA-161_E.pdf

▶利息・金利一覧 Rate Comparison <https://www.boh.com/consumer-rates/current/1706.asp>

▶取引条件 Terms & Conditions https://www.boh.com/files/customer-service/SOH_CIT_201201.pdf

なお、定期預金金利など、一部の情報はサイトに掲載させていません。それらについては、直接担当者にお問い合わせください。メール等でも知らせてくれます。

①当座預金口座 Checking Account

小切手決済用口座。給与振込みや各種支払サービスなど、付随するサービスが豊富に用意されており、米国内では銀行運用の中心的存在。基本的には利息は付かないが、利付き当座預金もある。

VISA チェックカード Visa Check Card (デビットカード、P40 写真参照) が無料で発行されるほか、テレフォンバンキング、インターネットバンキングが利用できる (ただし、テレフォンバンキングは基本的に SSN を持たない顧客は利用不可)。VISA チェックカードについては P42 ~ 47 参照のこと。

小切手帳は、BOH 本体ではなくハーランド・クラーク Harland Clarke 社が発行。最初に無料で 1 箱 (小切手 200 枚分) が発行される。非居住者にはそれで充分だろう。

BOH では以下の口座がある。いずれも 100 ドルから口座開設が可能 (総合口座「Bankohana」の場合は 500 ドル。口座維持手数料が発生する最低預金額規定は口座によって異なる)。

(1)Free Checking Account : 無料当座預金口座

もっとも一般的な当座預金口座。口座開設時に最低 100 ドル入金すれば、最低預金額の規定もなし。ただし、利息は付かない。追加の小切手帳の発行料は 1 セット (小切手枚数にして 200 枚) で約 30 ドル (小切手の種類による)。

▶ Free Checking Account の詳細

<https://www.boh.com/personal/banking-products/checking/info-guide-free-checking.asp>

(2)Personal Money Management Checking Account : パーソナル・マネー・マネジメント 当座預金口座

当座預金でありながら、利息が付く口座。利率は口座残高によって異なる。

最低預金額は 1 日 500 ドルもしくは 1 カ月の平均預金残高が 1 日につき 1,000 ドル。これを下回った場合、口座維持手数料 (月 7 ドル) が発生。給料などの自動振込みサービス「Direct Deposit」を利用しない場合はプラス 1 ドルかかる (合計で月 8 ドル)。

追加の小切手帳の発行も無料。

▶ Personal Money Management Checking Account の詳細

<https://www.boh.com/personal/banking-products/checking/info-guide-personal-money-management-checking.asp>

●当座預金口座の種類と特徴

| 口座の種類 | | 利息 | 口座開設時の最低預金額 | 最低預金額 | 最低預金額を下回った場合の手数料（月額） |
|------------------------------------|-----------|-------|-------------|--|---|
| Free Checking | | なし | \$100 | なし | なし |
| Personal Money Management Checking | | あり | \$100 | 1日 \$500 もしくは 月の平均預金算高が 1日につき \$1,000 | \$7 「Direct Deposit (給与振込サービス)」を 利用しない場合：+ \$1 |
| Bankohana* | Level I | あり ** | \$500 | 預金関連の口座の合計で 1日の平均預金算高が \$6,000 | \$15 |
| | Level II | あり ** | \$500 | すべての口座の合計で 1日の平均預金算高が \$20,000 | \$20 |
| | Level III | あり ** | \$500 | すべての口座の合計で 1日の平均預金算高が \$50,000 | \$30 |

* 総合口座「Bankohana」に組み込まれた当座預金。Bankohana については P21 参照。

** 優遇レートが採用される。

*

このほか、55 歳以上のリタイア層向けの口座「55+ Checking Account (55 プラス当座預金)」がある。

②普通預金口座 Savings Account

利息の付く口座。利息は日割計算、支払いは月ごと。こちらも 100 ドルから口座開設が可能。希望すれば Bankoh BankCard (ATM カード) が無料で発行される。

月 7 回以上の送金および現金引出しについては、1 回につき 10 ドルの手数料がかかる。普通預金口座にある資金は頻繁に引き出さないのが基本。

(1)Regular Savings Account : レギュラー普通預金口座

一般的な普通預金口座。最低預金額は 1 日 300 ドル。1 日の預金額がこの金額を下回った場合、口座維持手数料 (月 4 ドル) が発生する。2012 年 4 月現在、利息は 0.01 ~ 0.08% (預金額によって異なる)。

(2)Bonus Rate Savings Account : ボーナスレート普通預金口座

定期的な積立などで積極的に預金を増やしたい人向けの口座。最低預金額は 1 日 500 ドル。

月に 25 ドル以上の入金があって出金があれば、通常の利息 (0.01 ~ 0.08% *) にボーナスレート (0.04%) がプラスされる (0.05 ~ 0.12% *)。口座維持手数料 (月 5 ドル) も免除される (最低預金額を

クリアしている場合も口座維持手数料は免除)。

* いずれも預金額による。ボーナスレートは固定。

(3) Personal Money Market Savings Account : パーソナル・マネーマーケット普通預金口座

高利回りの短期金融市場レートが採用される口座。預金額によって利率が異なる。最低預金額は1日1,000ドルもしくは1カ月の平均預金残高が1日につき2,500ドル。これを下回った場合、口座維持手数料(月8ドル)が発生する。

(4) Bankohana Bonus Rate Savings : バンクオハナボーナスレート普通預金口座

総合口座「Bankohana」に組み込まれた普通預金口座(「Bankohana」についてはP21参照)。総合口座と連動しているため、最低預金額規定はない。口座の内容や利率は先に紹介した「ボーナスレート預金口座」とまったく同じ。

(5) Bankohana Bonus Rate Savings Plus : バンクオハナボーナスレート普通預金プラス口座

総合口座「Bankohana」に組み込まれた普通預金口座(「Bankohana」についてはP21参照)。総合口座と連動しているため、最低預金額規定はない。口座の内容は先に紹介した「ボーナスレート預金口座」と同じだが、ボーナスレートは倍の0.08%。ただし、月に100ドル以上の入金(出金はなし)が条件。

●普通預金口座の種類と比較

| 口座の種類 | 口座開設時の最低預金額 | 最低預金額 | 最低預金額を下回った場合の手数料(月額) | ボーナスレートが採用される入金額(月額)* |
|--------------------------------------|-------------|--|----------------------|-----------------------|
| Regular Savings | \$100 | 1日\$300 | \$4 | - |
| Bonus Rate Savings | \$100 | 1日\$500 | \$5** | \$25 |
| Personal Money Market Savings | \$100 | 1日\$1,000 もしくは 月の平均残高が 1日につき\$2,500 | \$8 | - |
| Bankohana Bonus Rate Savings*** | \$100 | - | - | \$25 |
| Bankohana Bonus Rate Savings Plus*** | \$100 | - | - | \$100 |

* 「出金はなし」が条件。

** 毎月25ドル以上入金し、出金しなければ最低預金額を満たさなくても手数料免除。

*** 総合口座「Bankohana」に組み込まれた普通預金。BankohanaについてはP21参照。

*

このほか、16歳以下の子ども向け口座「Kids Only Savings Account（キッズ専用普通預金口座）」（17歳の誕生日に自動的に Regular Savings に変更される）などがある。

③定期預金口座 Time Deposit Accounts (CD)

CDは Certificate of Deposit の略。銀行が発行する債務証券で、日本では「定期預金証書」とも呼ばれる。元本保証の定期預金の一種。BOHの定期預金口座は、期間の異なるCDを購入するもの。

預入期間は7日～8年から選択できる。固定金利制で、預入期間によって利率が異なる。最低預金額は2,500ドル（金利が発生する金額）。

以下、主な預入期間と利率。

●主な定期預金の最低預金額と利率

※利率は2012年5月15日現在

| 預入期間 | 最低預金額 | 年利が発生する最低預金額 | 利率（年） |
|------|---------|--------------|-------|
| 1年 | \$2,500 | \$2,500 | 0.10% |
| 2年 | \$1,000 | \$2,500 | 0.15% |
| 3年 | \$1,000 | \$2,500 | 0.30% |
| 5年 | \$1,000 | \$2,500 | 0.70% |

※バンクオハナ Bankohana 口座の定期預金金利は、上記レート + 0.10%が適応される。

※満期日前に解約する場合にはペナルティ（金額は条件による）が発生し、利息より差し引かれて清算される。

④特別総合口座 Special Package Account 「Bankohana(バンクオハナ)」

当座預金口座を基本として、複数の口座を1枚のステートメントで管理できる総合口座。個別の口座に設定されている最低預金額規定は適応されず、組み込まれるすべての口座の合計預金額で、口座維持手数料が発生するかどうか判定される。

500ドルから口座開設が可能で、当座預金口座の開設が必須条件（手数料などの支払口座にするため）。月に1回、すべての口座を合わせた総合ステートメントが発行される。

この口座を開設すると、ここに組み込まれる口座はすべて、優遇レートが採用される（当座預金口座も利付きになる）。

また、通常の当座・普通預金で受けられるサービスに加えて、以下のようなサービスを利用できる。ただし、非居住者にとって有益なものはあまりない。

- ・小切手借越 CoverCheck Overdraft Protection サービス（申込みと信用調査が必要。通常年 15 ドルの手数料免除。サービスの内容については P28 参照）
- ・小切手保管サービス Check SafeKeeping / キャンセル小切手・コピー返送サービス Check Images / キャンセル小切手・現物返送サービス Cancelled Check Return（すべて無料）
- ・インターネットでの自動引き落とし e-Bankoh Bill Pay サービス（通常は月 5.95 ドルの手数料が免除）
- ・電信送金の支払（送金）停止依頼が無料（通常は 1 回につき 20 ドル）

口座は、最低預金額や利用できるサービスの範囲によって、以下の 3 つの口座に分けられる。

(1) Bankohana Level I : バンクオハナ・レベル 1

当座預金、普通預金、定期預金、クレジットカード、ローン（住宅ローンを除く）などの各種口座を合わせて、1 日の合計平均残高が 6,000 ドル以上の預金残高があれば、口座維持手数料（月 15 ドル）はかからない。

<特典>

- ・バンクオハナ専用小切手の発行が無料
- ・デポジット・ボックス（貸金庫）の手数料割引（15 ドル）

▶ Bankohana Level I の詳細

<https://www.boh.com/personal/banking-products/checking/info-guide-bankohana-level-I-checking.asp>

(2) Bankohana Level II : バンクオハナ・レベル 2

Level I の上位口座。当座預金、普通預金、定期預金、ローン、住宅ローン（10,000 ドルまで）、クレジットカード、投資サービスの各口座の合計残高が 1 日平均 20,000 ドル以上あれば、口座維持手数料（月 20 ドル）が免除される。

<特典>

- ・電信送金での受取手数料（通常 10 ドル）が無料
- ・トラベラーズチェックの発行が無料
- ・バンクオハナ専用小切手の発行が無料
- ・デポジット・ボックス（貸金庫）の手数料割引（30 ドル）

▶ Bankohana Level II の詳細

<https://www.boh.com/personal/banking-products/checking/info-guide-bankohana-level-II-checking.asp>

(3)Bankohana Level III：バンクオハナ・レベル3

もっとも上位の口座。当座預金、普通預金、定期預金、ローン、住宅ローン（10,000ドルまで）、クレジットカード、投資サービスの各口座の合計残高が1日平均50,000ドル以上あれば、口座維持手数料（月30ドル）が免除される。

<特典>

- ・ Visa Check Card（黒）が発行される
- ・ 米国内のATM（BOH以外のものを含む）での引出、残高照会、資金移動が無料（米国外は有料）
- ・ 電信送金での受取手数料（通常10ドル）が無料
- ・ トラベラーズチェックの発行が無料
- ・ バンクオハナ専用小切手の発行が無料
- ・ デポジット・ボックス（貸金庫）の手数料割引（30ドル）

▶ Bankohana Level IIIの詳細

<https://www.boh.com/personal/banking-products/checking/info-guide-bankohana-level-III-checking.asp>

当座預金口座の種類と条件をまとめると下の表のようになる。

先にも述べたが、バンクオハナで利用できるサービスはハワイ居住者向けのものが中心なので日本人ではあまり利用価値がない。

バンクオハナ Level2 や Level3 の受取手数料無料サービス（通常10ドル）や優遇レート、Level3 のATMの利用手数料無料（ただし米国内のみ）は魅力だが、最低預金額と利用できるサービスを充分考慮して、口座を選択したい。

ただし、次項で説明するように、Bankohana 関連の口座は「Inactive」口座の対象にはならないので、その点では安心。

● Bankohana の種類と特徴

| 口座の種類 | 当座預金の利息 | 口座開設時の最低預金額 | 最低預金額 | 最低預金額を下回った場合の手数料（月額） |
|-----------------------|---------|-------------|-------------------------------|----------------------|
| Bankohana Level I * | 優遇レート | \$500 | 預金関連の口座の合計で1日の平均預金算高が \$6,000 | \$15 |
| Bankohana Level II * | 優遇レート | \$500 | すべての口座の合計で1日の平均預金算高が \$20,000 | \$20 |
| Bankohana Level III * | 優遇レート | \$500 | すべての口座の合計で1日の平均預金算高が \$50,000 | \$30 |

■口座利用のポイント

先にも説明したように、BOHの口座は基本的にハワイに住んでいる人たちが日常的に利用するための口座です。そのため、長期間（通常1年が目安）口座を利用しないでいると、「Inactive（休眠口座）」と見なされて口座がロックされ、「Free Checking Account」の場合は残高に関係なく、その他の口座は1日の平均残高が3,000ドルを下回っている場合、毎月5ドルの手数料が引き落とされることがあります（Bankohana関連の口座は手数料の対象外）。休眠口座とみなされると、チェックカードもロックされてしまい、カード自体を再発行してもらわなければなりません。

また、口座には動きがあったとしても、カードを長期間使用していないと、カードが使用できなくなってしまうこともあります。

カードのロックに気づかないでいると、米国に旅行でいざ使ってみようというときに困ってしまったり、突然、銀行から通知が届いてビックリすることになってしまいます。

こうした事態を避けるには、1年に1回でもいいので、ATMで現金を引き出すか、残高照会する（手数料75セント）など、カードを利用して資金を動かすことです（当座預金口座と普通預金口座間の振替は通常、入出金とは認められません）。